



大日本帝国憲法と「日本国憲法」の階層構造

「日本国憲法」は帝国憲法76条1項に基づく講和条約です。現内閣や国会が「日本国憲法」の

- ① **憲法としての無効**
- ② **講和条約としての有効**
- ③ **帝国憲法の現存**

を確認宣言するだけで天皇が元首、旧皇族が現皇族（皇籍自動復帰）、占領典範無効確定、明治典範が現典範（皇室自治自律の確立）、自衛隊は皇軍です。この宣言は今日明日にでも可能です。帝国憲法改正成就と同時に**ダルマさん落とし**のように「日本国憲法」を対外的に破棄通告。

真正護憲論とは日本国憲法を戦略的に使い捨てる理論です。